メネット事業通信　No. 9　2020. 4. 22

＜事業主題＞　　新しい風に愛をこめて！

メネットらしい発想から生まれ、愛をもって活動するメネット事業を通して、ワイズダムへ新たな風を送ろう！

2019-2020 年度メネット事業主任　大野　勉（神戸ポートクラブ）

1．メネット事業献金について

4 月 15 日時点で献金いただいたクラブです。

（振込通知より）青文字は、前回ご紹介した日(2 月 7 日)以降振り込みいただいたクラブです。

ご協力ありがとうございます。お礼申し上げます。

中　部	名古屋、津、金沢、名古屋東海
びわこ部	近江八幡、彦根、草津、滋賀蒲生野、彦根シャトー、長浜
京都部	京都ウエスト、京都めいぷる、京都エイブル、京都トゥービー、京都東稜、京都 ZERO、京都みやび、京都パレス、京都グローバル
阪和部	和歌山、大阪河内、大阪泉北、和歌山紀ノ川、奈良
中西部	大阪センテニアル、大阪なかのしま、大阪、大阪土佐堀、大阪高槻、大阪西
六甲部	西宮、神戸ポート、宝塚、芦屋、神戸
瀬戸山陰部	米子、岡山、姫路グローバル、姫路
西中国部	広島、福山、岩国みなみ、東広島、呉
九州部	北九州、熊本、福岡中央、八代、熊本水前寺、熊本スピリット、熊本にし 熊本ジェーンズ、鹿児島、熊本五福、熊本むさし

＜万が一記載漏れがありましたらご連絡ください。＞

2．メネット事業アンケート結果のお知らせ

これまでのメネット事業をふり返り、今後のメネット事業の方向性を探るために、アンケート調査を行いました。＜回収率 91.3%：73/80＞

1		部　　クラブ　　会長名		
2			項目	人数
3	1	会員数	正会員（広義、功労含む）	
4			正会員のうち女性会員	
5			メネット	
6			メネット会の有無	
7				以下、該当すれば1を記入
8	2	メネットの例会参加状況(一人でも参加があれば)	毎月	
9			年に１～６回	
10			年に７回～11回	
11			メネット主催の例会がある	
12	3	メネットにクラブや部での議決権がありますか。	クラブ内で議決権がある	
13			部内で議決権がある	
14				
15	4	メネット事業として取り組んでいること（内容：クラブ or 部で）		
16	記述			
17	5	今後のメネット事業	メネット事業は今後も必要	
18			メネット事業はなくてもよい	
19		メネット事業の今後について（困っていること、進言など）		
20	記述			

（人）

1．会員数	正会員(広義・功労含む)	1360
	正会員のうち女性会員	222
	メネット数	759
	メネット会が有	27

（クラブ数）

2．メネットの例会参加状況	毎月の例会に参加	21
	年に１～6 回	31
	年に 7～11 回	8
	メネット例会が有	21
3．メネットの議決権	メネットがクラブ内で議決権がある	10
	メネットが部内で議決権がある	1
5.今後のメネット事業	今後もメネット事業は必要	33
	メネット事業はなくてよい	19

メネット事業アンケート結果（4．5．の項目）

4．クラブ内での活動

＜中部＞

金沢：当クラブでは、毎年 9 月の例会をメネットナイトとして､企画･運営すべてをメネット会が担当している。今年は YMCA が青年会議所と協賛した「ひとり親家庭の絆」プロジェクトにワイズメン・メネットも協力し良い成果を出した。このひとり親家庭の親子をメネット会主催の「いも煮会」にも招待し喜ばれた。今後もこの活動を継続する予定。

名古屋：現在、メネット会は休止状態にある。メネット会が以前より継続して取り組んでいた地域の重度障がい者が通う事業所へのクリスマス会奉仕を今はメンが引き受けて開催している。その取り組みにメネットの何人かと女性メンが積極的に参加している。

名古屋南山：女性会員もいるので、敢えてメン・メネット分ける必要は無いと思います。

名古屋グランパス：メネット事業としての活動はないが、クラブ活動にメネットは積極的に協力している。

とやま：メネット事業としての活動はない

＜びわこ部＞

近江八幡：老人施設等訪問演奏年 10 回以上、一泊演奏旅行年 1 回。

＜京都部＞

京都ウエスト：クリスマス例会時、コメット・マゴメットたちのプレゼントを購入する。

京都キャピタル：YMCA やクラブが主催する活動にメネットとして参加している。また、メネット懇親会によってメネット同士の交流を行なっている。
京都プリンス：当クラブにはメネット会は存在しますが、事業等への取り組みはありません。
京都センチュリー：メンの事業のサポート。メネット独自の例会や事業の実施。Etc.
京都エイブル：毎年、設立記念例会はメネット同伴の企画で、小グルメ旅行などを楽しんでいます。また、納涼例会や福祉祭り、クリスマス例会はいつもメネットさん同伴で賑やかにやっています。
京都トップス：エコキャップ収集、食事会の開催、記念例会等にてメネット招待
京都東稜：西日本区メネット会に献金
京都 ZERO：２月、クラブとしてメネット事業計画中、ベルマーク収集中。

＜阪和部＞

和歌山：BF 活動として、資源ゴミ回収事業に協力。十勝じゃがいも／カボチャの販売に協力。年２回の TOF 例会での食事作りに協力。
奈良：フードドライブ（クラブとして）
大阪サウス：阪和部メネット会にメンと共々参加しています。
大阪河内：・物品販売などによる募金活動への取り組み。・例年３月にメネット例会を主催する。・部主催の行事に参加する。
大阪長野：IBC,DBC へのクリスマスプレゼント作成。・使用済み切手収集。・例会会場のセッティング、会食、食事の手配。
大阪泉北：年に１度メネット主催の例会を開催。
和歌山紀ノ川：９月にメネット例会を開催している。年に２回程度懇親会を実施している。

＜中西部＞

大阪：メネット月間の例会開催、土佐堀カーニバルカレー店支援、HH キャンプ支援
大阪土佐堀：西日本区のメネット事業への協力。中西部メネットのミーティング（引継会など）への参加。
大阪センテニアル：西淀川子どもセンターをメンと共に支援。大阪 YMCA 専門学校表現コミュニケーション学科の茶道体験にメンと共にご奉仕。
大阪西：西淀川子どもセンター支援、メネット例会の開催。
大阪なかのしま：メネットはいないクラブだが、出来る限り事業に参加し、強調月間には相応しい例会を開催。

＜六甲部＞

神戸：年に１度メネット主催の例会を開催。WACCA への支援（BBQ,リサイクルショップ、Free Help への協力）。チェンマイとカンボジアへの支援。YMCA 国際協力募金。いのちの電話への献金。
宝塚：メンの活動を理解し、協力し、協働する。西日本区のメネット事業を理解し、出来る範囲で協力する。
芦屋：年に１度目ネット強調月間にメネット例会を実施。２月留学生交流会にポトラックで参加。部の行事やクリスマス祝会には参加協力。

＜瀬戸山陰部＞

姫路：クラブにおいて合同例会などの際にメネットをお誘いする。９月のメネット強調月間の例会をメネット例会としたいと計画するが、近年の開催はなし。西日本区のメネット事業については、国内プロジェクトへの献金を毎年、実施している。
岡山：メネット事業はクラブで考える。メネットの月例会はメネットさんが参加しやすい内容と卓話者を選択する。日頃からメネットさんの協力に感謝。
米子：・DV 被害者支援を引き続き取り組む。・子ども食堂への支援を昨年より開始。

＜西中国部＞

広島：西中国部：ベルマークを収集し、被災地の学校教育活動に役立ててもらう。広島クラブ：広島 YMCA のイベントをサポート;国際交流プログラムアロハパーティー、ハノーバーティー・国際青少年平和セミナーで手作り料理提供、バザー献品の値付け・販売、チャリティーランで豚汁提供、ファミリークリスマスリース作り、メネット例会主催

＜九州部＞

熊本：年に１度、メネット主催のメネット会を開催(9月)。クリスマス例会はメネットとともに運営。センター祭(前進祭)は女性メンと共にメネット主体で活動。
八代：クラブ：例会のテーブルに花を飾る。部：年１度、メネットアワーの開催（卓話など）
熊本むさし：・YMCA むさしセンターの花植えを春・秋２回している。・菊池養生園でののみの市、古着の販売をし、ボランティア資金にしている。・YMCA むさしセンターの「フェスタ」の手伝いをしている。
熊本ひがし：・例会おもてなし（正面の生け花、卓上お菓子と季節の飾り、ウェルカムボード等）
・クラブの活動に参加しています。（ながみね祭、東ティモール YMCA 支援）
熊本にし：・メネットナイト（メネット内交流会）・みそファンド（手作りみそ販売）・フリースクール支援・こども食堂支援
熊本スピリット：９月はメネット強化月間に合わせてその趣旨の元、例会を行っている。在熊ワイズメンズクラブにおける合同メネット例会に参加している。
熊本五福：９月は、メネット強化月間に合わせてその趣旨の元、例会を実施。在熊ワイズメンズクラブにおける合同メネット例会を開催。幼稚園の保護者向けのワークショップや幼稚園行事への協力などを実施。

５．メネット事業の今後について

＜中部＞

金沢：長く続いていた「中部合同メネット会」の開催が難しくなってきた。名古屋と金沢という距離的な問題とメネット会が金沢クラブのみとなってしまったため。
名古屋地区の各クラブのメネット会復活を期待している。

名古屋：伝統あるメネット会であったが、１０年ほど前から入会するメンバーのメネット会への参画がほとんどなく、メネット会メンバーの高齢化により、継続していくことが困難となってしまった。メネットのクラブへの参加も広がる見込みがなく、このままだと　メネット会は消滅、解散となりそう。

名古屋東海：クラブ内で協議する機会は、これまでにもあったが、意見は散発的。基本的には現状では、必要性を感じていないし、見通しが持てないといったところ。
全員で意見や希望を出し合える場（総会又は特別例会、役員会）を一度持ちたいと、役員は考えている。

名古屋グランパス：クラブ設立以来クラブ独自のものはない。西日本区のメネット事業への献金のみである。西日本区のメネット事業もＣＳ・Ｙサ・国際への統合で良いのではないかと思います。

津：クラブ例会に散発的にメネットが参加することがあるが、メネット独自事業を実施する力量はない。

とやま：今は女性会員が多いのでメンの配偶者という括りで事業を行っていくのはむつかしいと思います。

＜びわこ部＞

近江八幡：メネットだけの活動は難しい。メンたちの協力が必要である。同好会的な活動を近隣クラブと合同で実施すれば、活発な活動になると思う。

彦根：会員数の高齢化で、メネットもお亡くなりになられる方があり、新入会員の勧誘が必須条件です。なかなかリクルート活動が進まず、このままではクラブ存続もむつかしい状況で、危機感いっぱいです。

長浜：メネット事業対象の事業はありませんので、クリスマス例会などに参加を促しています。

草津：高齢化（主に）で活動が停滞している。

＜京都部＞

京都：京都クラブは、メネット事業は必要無いと考えている。

京都パレス：パレスクラブ内では、メネット事業は今後も不要と考えております。西日本区内でのメネット事業については不要とは考えておりません。

京都ウエスト：メネットの集まり等にも関心が薄く、メネット連絡員を決定するのも困難。決まったメネットしか出席していない。ウエストクラブは女性メンバーが多く、一緒に交流していきたい。

京都キャピタル：昨今は、西日本区メネット事業主任からの事業方針が明確ではなく、取り組むべき事業が明らかでないので、クラブのメネット事業としての方向性が出しにくいと思えるので、今後は事業主任の方針を明確にしてほしい。

京都プリンス：強制ではなく、協力可能なメネットが自主的に活動してゆかれる事を望みます。

京都洛中：京都洛中クラブでは、メネット会を組織として持っていません。今後も組織化する事は無いと思いますが、国際的にメネット事業が推進されている以上、クラブとしてメネット事業に協力していきたいと思います。

京都エイブル：中心メンバーが団塊の世代で高齢の為、メネット会などの維持運営をメネットさんだけで行うのがむつかしくなり、2010 年以降、メネット会を休会としております。ワイズメンズクラブのいいところはやはりファミリーで親睦、交流が出来るところだと思います。出来る範囲で無理せず・・・。

京都トップス：メネットクラブへの理解度、例会への出席率の低下

京都東稜：東稜クラブとしては、メネット事業は今のところ考えていません。

京都 ZERO：今年度のような取り組み方で、継続していくことが望ましいが、組織としてのメネット事業の位置づけについては検討していくべき。

北京都フロンティア：メネット運営にまで手が出ない状態です。今後の課題です。

＜阪和部＞

和歌山：区のメネット事業として取り組む事業は、現状からして不要と考えます。

奈良：メネットも高齢化となり、色々な面で独自で活動する事が難しくなっています。

大阪河内：・メネット(パートナーを含む)の高齢化、健康状態、遠距離、職業を有するなどの理由により参加者が少ない。・今後、「さんホーム子ども広場」への具体的な支援を検討したい。

大阪長野：メネット事業については必要ないが、クラブ内ではメネットは必要。

大阪泉北：メネット事業の意識付けは大切ではあるが、クラブ内でメネット事業を単独で行うことは非常に難しい。

＜中西部＞

大阪：参加するメネットが少なく、メネット会として成り立たなくなっているのが現状です。

大阪土佐堀：女性もワイズメンとして関わり、今、直ぐではないが徐々にメネット事業の廃止に向かう時代の流れかと思います。

大阪センテニアル：メネット事業としては意義があるが、後継者不足のため、活動継続は難しいという現状です。

大阪西：メンバー数の減少により、クラブ運営が厳しくなっているが、メネットのサポートのおかげで助けられています。

大阪なかのしま：大きな事業は賛成出来ないが、メネットらしい事業は続けられる事を希望します。

＜六甲部＞

神戸：西日本区では前期、今期メネット事業主任が不在のため、理事や理事歴任者が担って下さったが、やはり無理があると感じました。従ってメネット事業主任を引き受けるメネットがいる時にメネット事業を行うことに

し、メネット事業主任不在の時はおやすみということにしても良いのではないでしょうか。

芦屋：部としてはメネット主査はメネットから出るのが好ましい。今期はメンバーが輪番制で受けたが、活動が十分でないと思われる。メン・メネット共にメネット活動に対する意識が薄いのではないかと？

＜瀬戸山陰部＞

姫路：ワイズの会員にメネットを誘おうという意識がないことがまず問題である。何かの機会にメネットを誘って例会に出席する会員は限定されている。メネットが拒否しているのではなく、メンが誘わないから例会への参加もないものと推測する。

岡山：ワイズには会員だけでなく家族をふくめた理解と活動が必要。以前はメネット活動を活発に行っていましたが、近年は高齢化、体調不良により参加できにくくなっています。若いメネットさん、育児を卒業されたメネットさんの参加はあります。メネットさんが計画、リードすることはできない状況です。

姫路グローバル：クラブではメネット会は無く、女性もメンとして活動。

米子：メネットの協力者があり、小さなクラブですが、その働きによって刺激を受けております。そして、メネットのお働きに感謝です。

＜西中国部＞

広島：メネットの高齢化でイベントのサポートが年々負担になっている。若い会員が増えない。

福山：当クラブは会員数が少なくメネット主査も不在です。

岩国みなみ：事業委員会としての存続がよいかどうかは、近い将来判断した方がよいと思います。メネット事業の存廃を考えるなら、その決定が我々の運動を強めるかあるいは弱めるかを前提に、慎重に判断されることを望みます。

＜九州部＞

熊本：女性メンが 1/4 を占めていることから、女性会長時のメネット会長の選出に苦慮している現状です。しかし、これまでのクラブ内でのメネット活動の功績は大きいですので、単発ではなく継続的なメネット事業に期待します。

北九州：現在、当クラブで実施できていないので、メネット活動が活発なクラブや部での取り組みに興味があります。

八代：メネットの参加がなく、女性メンでメネット事業を行なっている。ワイズとして活動していけば良いのでは。

鹿児島：メネット事業は必要であるが、クラブ内のメネットは実際に活動できる人が限られている。

熊本むさし：クラブのみのメネット事業としては、無くてもいいと思いますが、ワイズ全体で今までのようにメネットの事業をしてほしいと思います。

熊本みなみ：以前は、みなみクラブにもメネット会があったら、諸事情により現在は無い。みなみクラブのメネットは主に女性であり、人間関係を含めたデリケート問題がある。時代も変わり、個々が忙しくなり、夫婦揃ってのワイズ活動が負担となりかねない現状と、解散当時のメンバーと大きく変わっていない事から、再開は難しいと思える。

熊本ひがし：・今後のメネット事業については、メネットが参加する事業が必要だと思います。・子育て世代は参加が難しい、親の介護世代もやりくりして参加しています。・それでも、年に２～３回は子育て世代もファミリーで参加されて感謝。

熊本スピリット：女性メンも多い中、一緒に行動を起こす形で進めてきた。今後、メネットが増えていく中で、活動の意欲が出た時点での検討が必要である。しかし、社会情勢の変化で、女性が活躍する時代の中、共働きの家庭も多い。子どもの教育もあり、夜に集まる事も困難な部分もある。子育てを終了した後の参加もあると思うが、その中でワイズメネットの魅力をどのように伝える事ができるかが課題である。すべてのメネットが社会変化、YMCA 運動の参加に結びつけることは困難。クリス丸例会や８月の子どもたちが休みの時に参加できる仕組みづくりからのスタートと、YMCA の昼のプログラムから参加する方向性が必要という認識を持っている。

熊本五福：メン（女性メン）の事業へのサポートを主体とし、幼稚園での活動という環境の中で、女性ならではの観点での取り組みや、意見交換などを積極的に行っているが、参加者が限られているので、今後参加者が楽しめるクラブの活動が望ましい。

結果を受けて

１．メネット事業の現状

メンバー構成の関係から、事業を行っているところと行っていないところが明らかになった。これは止むを得ないことである。しかしながら、活発に活動しているクラブがあることから、メネットの活動は今後も形はどうあれ、継続していく必要はある。その形については今回の結果を受けて、方向性を探っていく必要に迫られている。

また、活動内容についても、単発、単独という形もあるが、やはり、区として協働できる、継続的な活動が望まれている。

２．今後のメネット事業

今期は、CS や Y サと同じように、各部やクラブでの事業展開をお願いしてきた。区として取り組む事業を望む声もあったが、メネット事業主任１人での活動ということもあり、各部、クラブへ委ねる部分を大きくしてきた。今回のアンケート結果を受けて、事業委員会で協議を行い、ワイズメンズクラブのメネットのとしての活動（事業）の未来を築いていきたい。

今後も、多くのご意見をお聞きしていきたい。